

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	腱板大・広範囲断裂に対する大腿筋膜補強術(GA)の手術成績
当院の研究責任者(所属)	太田 悟 (真生会富山病院整形外科)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	術中フットプリントの内側化(本来の腱板がついていた上腕骨の骨の部分、大結節をより腱板が届くように内側、近くまで骨を削る事)を行うことで、断裂腱板断端が大結節に届く場合は、結節縫合部の補強処置として大腿筋膜を用いてGAを追加しています。GAは、国分らが腱板大・広範囲断裂に対し大結節部に大腿筋膜を用いて補強する術式として報告しました。腱板修復部の緊張を減らすことで再断裂率を減らし、外転筋力の回復にも作用し良好な臨床成績を報告しています。本研究の目的は、腱板大・広範囲断裂に対し施行したGAにおいて、当院での臨床成績及び術後MRIの経時的変化等について検討することです。
調査データの該当期間	・研究実施期間:承認日から2027年10月31日 調査データの該当期間:2017年2月14日から2022年9月30日
研究の方法(対象となる方)	GAは2017年から2022年まで腱板大・広範囲断裂に対し同一術者によってなされたものです。年齢・性別は不問です。
研究の方法(使用する情報)	・患者背景:年齢、性別、術前後のレントゲン、術前後の肩峰骨頭間距離(AHD)、脂肪変性、MRI評価 ・JOA(日本整形外科学会肩関節疾患治療判定基準)スコア、UCLA(University of California at Los Angeles)スコア、関節可動域(拳上角度、外転角度、下垂位内旋外旋角度)、筋力、手術時間、グラフトのサイズ、再生組織の厚さ、グラフト断裂率(術後のグラフト断裂の有無)
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話:0766-52-6841(整形外科直通電話) 担当者: 太田 悟 (医師)
備考	